

課題対応に地域力結集

プラチナ三島で意見交換会 構想ネット

高齢化や環境問題などの政策課題について、構想ネットワーク(東京)は6日までに三島市で意見交換会を開き、元東大総長の小宮山宏会長と地元関係者らが懇談した。



地域活動のあり方などについて懇談した意見交換会＝三島市内

同ネットワークは社会が抱える諸課題の対応は地域力の結集が不可欠とし、地方間連携を訴えている。独自に設けた顕彰制度でエコや高齢者の人材活用、雇用創出の取り組みを表彰している。

懇談で本年度特別表彰を受賞したNPO法人グラウンドワーク三島の渡辺豊博専務理事は源兵衛川の再生活動

に触れ、「『市民に愛される水辺を』との一心でやってきた」と強調。小宮山会長は「観光客が増え、単なる環境美化でないところが素晴らしい」と官民一体の取り組みを評価した。

ゲスト参加した岡山県備前市の吉村武司市長は市のふるさと納税が数千万円規模から27億円を超えた実績を報告した。

(三島支局・河村英之)